

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 6 年 12 月 3 日(2024.12.3)

【公開番号】特開 2023-76147(P2023-76147A)  
【公開日】令和 5 年 6 月 1 日(2023.6.1)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-101  
【出願番号】特願 2021-189378(P2021-189378)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 1 3

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 11 月 25 日(2024.11.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を制御可能な遊技制御手段と、

遊技機の裏側に設けられていて電源投入を行うことが可能な電源操作部と、を備え、

前記遊技制御手段は、

所定の判定処理での判定に基づいて、大当たり遊技状態に制御可能であり、

遊技者に付与される賞球数に基づく特定計測数を計測可能であり、

前記大当たり遊技状態に制御されているときに前記特定計測数が予め定められた基準数以上であって当該大当たり遊技状態が終了すると、遊技を実行不能に制御可能であり、

30

遊技を実行不能に制御した後に、前記電源操作部への操作に伴って遊技に係る情報を消去しない場合には、遊技を実行不能にする制御を維持する一方、遊技を実行不能に制御した後に、前記電源操作部への操作に伴って遊技に係る情報を消去する場合には、遊技を実行不能にする制御を解除する遊技機であって、

前記大当たり遊技状態に制御される期待度を示唆可能な第 1 の発光部および第 2 の発光部を更に備え、

所定の始動口への入賞に際して、前記第 1 の発光部の態様が変化する場合と、前記第 2 の発光部の態様が変化する場合とがあり、

前記第 1 の発光部は、発光色の違いによって異なる前記期待度を示唆可能であることを特徴とする遊技機。

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

ところで、遊技機では、遊技者が継続した遊技によって、過剰な賞球を獲得することがあり得る。この場合、遊技機が遊技者に対して過剰な賞球を付与しないようにすることはなかった。

【手続補正 3】

50

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明の遊技機は、  
遊技を制御可能な遊技制御手段と、  
遊技機の裏側に設けられていて電源投入を行うことが可能な電源操作部と、を備え、  
前記遊技制御手段は、  
所定の判定処理での判定に基づいて、大当たり遊技状態に制御可能であり、  
遊技者に付与される賞球数に基づく特定計測数を計測可能であり、  
前記大当たり遊技状態に制御されているときに前記特定計測数が予め定められた基準  
数以上であって当該大当たり遊技状態が終了すると、遊技を実行不能に制御可能であり、  
遊技を実行不能に制御した後に、前記電源操作部への操作に伴って遊技に係る情報を  
消去しない場合には、遊技を実行不能にする制御を維持する一方、遊技を実行不能に制御  
した後に、前記電源操作部への操作に伴って遊技に係る情報を消去する場合には、遊技を  
実行不能にする制御を解除する遊技機であって、  
前記大当たり遊技状態に制御される期待度を示唆可能な第1の発光部および第2の発光  
部を更に備え、  
所定の始動口への入賞に際して、前記第1の発光部の態様が変化する場合と、前記第2  
の発光部の態様が変化する場合とがあり、  
前記第1の発光部は、発光色の違いによって異なる前記期待度を示唆可能であることを  
特徴とする遊技機である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の遊技機によれば、遊技者に過剰な賞球を付与しない遊技機を提供可能である。